

講座「問題解決型授業」指摘事項及び最終評価基準について

1. 中間プレゼンの指摘事項

①共通指摘事項

姿勢、強弱のある話し方、熱感、声量や表情など、聞き手を説得するためのプレゼン力の向上。

②各チームへの指摘事項

【チーム A／健康な高齢者向けテーマパーク（遊結縁）】

- 施設の具体的な到達目標あるいはビジョンの設定。
- ポイント制も含め、運営コストの生み出し方の深掘り。
(低所得者層も動かすきっかけ作り)
- 介護教室の目的や目的に合わせた活用法の明確化。

【チーム B／要介護者向け複合商業施設（Silver Happy Project）】

- 昭和の雰囲気づくりによる生きる力を引き出す効果について、
実験データの精査および他の事例の確認。
- 海外の事例やイオンの GMS 等を調査し、商業施設の運営手法の
参考にする。
- 要介護者の実態を知る（当社施設の見学）

2. 最終プレゼン評価基準

(1) プレゼン力

- ・身振り、手振りを使い臨場感を演出できているか
- ・一方的に話すのではなく、問い掛けを交えているか
- ・机の上の資料ではなく、プレゼンターの方あるいはスクリーン
を見るように仕向けているか

- (2) アイデアや視点の斬新性や魅力
- ・ 従来の方法と提案の違いを明確に示しているか
 - ・ 例えば、下記のような項目と従来のやり方を比較することができるような見せ方をしているか
 - ～ 従来のやり方に対して新規に付け加えたこと
 - ～ 従来にない全く新しいこと
 - ～ 従来は脆弱であったり、不確実であったこと 等
- (3) 問題解決への道筋づくりの確かさ
- ・ 到達点を明確にしているか
 - ・ 解決できる根拠が明確になっているか
 - ・ 解決のプロセスを明確にしているか
- (4) 事業計画の具体性と実現性
- ・ 計画実行への手順が明確になっているか
 - ・ 各取組みのコストは明確になっているか
 - ・ 到達点を明確にしているか
 - ・ スケジュールが明確になっているか

以上